

製品名: ヒストン H1.0 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02082**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 21 kDa; Observed MW: 30 kDa

抗原情報

遺伝子名	H1-0
別名	Histone H1.0; Histone H1(0); Histone H1.0; N-terminally processed; H1F0; H1FV; Histone H5
遺伝子 ID	3005
SwissProt ID	P07305
免疫原	ヒトヒストン H1.0 の合成ペプチド

背景

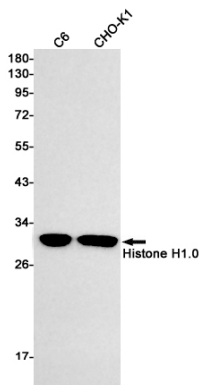
ヒストン H1.0 は、H1 リンカーヒストンファミリーに属するリジンを豊富に含むタンパク質です。H1 ファミリーのタンパク質は、ヌ

クレオソーム間のリンカー DNA と相互作用し、高次クロマチンへの凝縮を媒介します。ヒストン H1 は、ヌクレオソーム鎖の高次構造への凝縮に不可欠です。H1F0 ヒストンは、分化の終末期にある細胞、または細胞分裂速度が低い細胞に存在します。

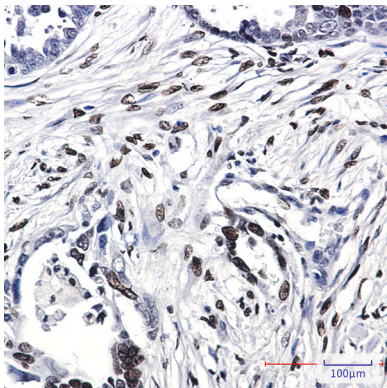
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



ヒストン H1.0 抗体を使用した C6、CHO-K1 溶解物中のヒストン H1.0 のウェスタンブロット分析。



ヒストン H1.0 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。